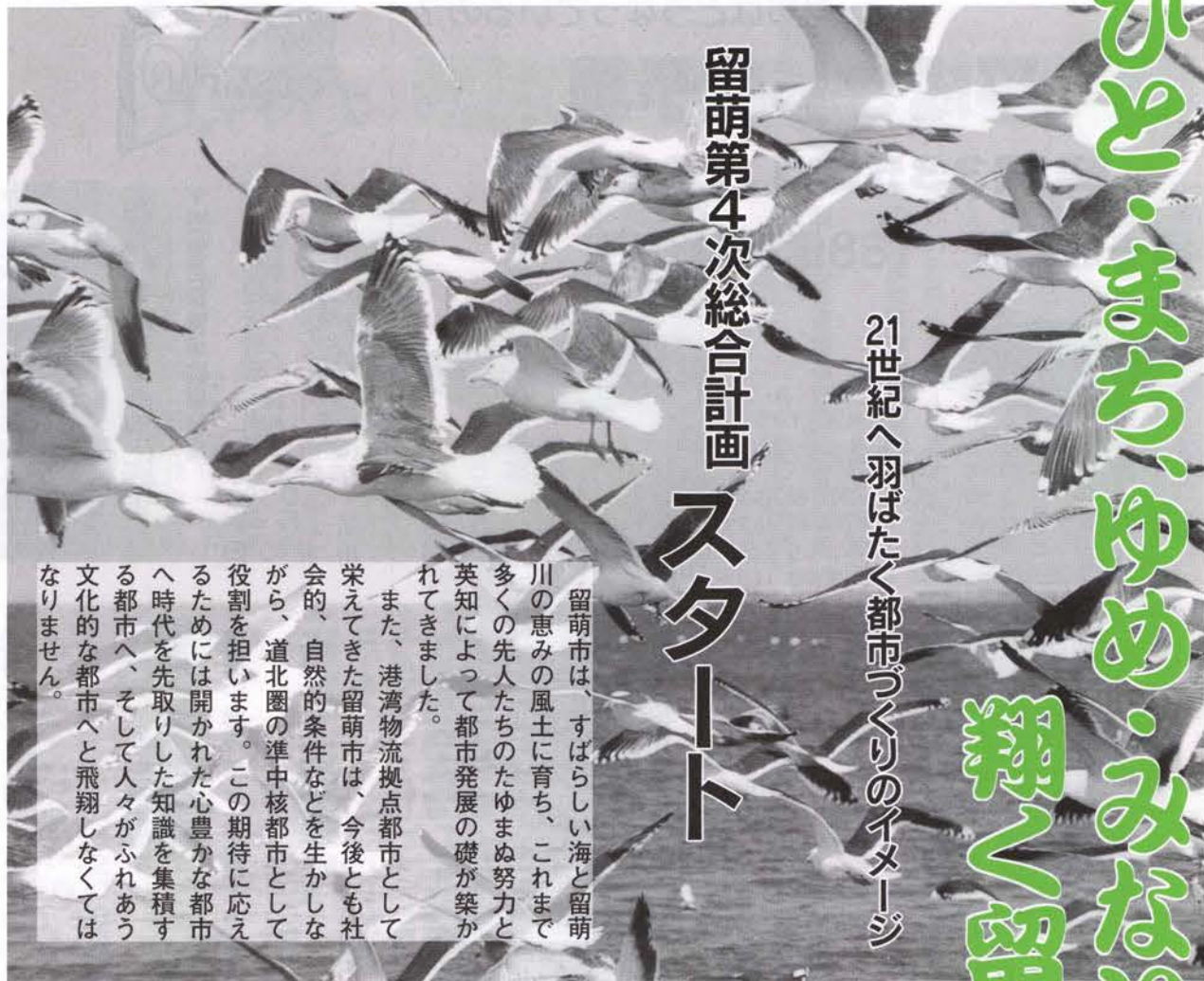


ひと・まち・ゆめ・みなと

翔く留萌21

21世紀へ羽ばたく都市づくりのイメージ



留萌第4次総合計画

スタート

留萌市は、すばらしい海と留萌川の恵みの風土に育ち、これまで多くの先人たちのたゆまぬ努力と英知によって都市発展の礎が築かれてきました。

また、港湾物流拠点都市として栄えてきた留萌市は、今後とも社会的、自然的条件などを生かしながら、道北圏の準中核都市として役割を担います。この期待に応えるためには開かれた心豊かな都市へ時代を先取りした知識を集積する都市へ、そして人々がふれあう文化的な都市へと飛翔しなくてはなりません。

将来像と基本目標の実現に向けて、今後の施策・事業を進めていきます。

個性を拡大する「物流都市」をつくるために —都市空間計画—

(1) わがまちが誇る港湾・物流

重要港湾留萌港は、港湾の物流機能のほか、産業・文化・観光面の機能も求められています。

あらたな港湾計画での、フェリー就航・企業誘致活動の促進・港湾シンポジウムなどの事業を展開し、臨港地の整備と活用、雇用の創出拡大を図ります。そして、親水機能を活かした港湾をめざし、海洋性レクリエーション拠点としての機能の充実にも努めます。

(2) 開かれたまちの広域交通

広域交通体系・都市交通機能市民生活の安全性と利便性を確保するために、パスターミナル、

「留萌市民意識調査」まちづくり市民会議「今後の期待」

●人口の高齢化について

高齢社会に向けて望んでいることは、「高齢者のための仕事場の確保」、「ホームヘルパーや保健婦の増員」、「老人ホームや老人保健施設の整備」、「健康診断・体力づくり」などであり、身近な介護、働きたいがい、施設整備など幅広い期待となっています。

●地域間交流について

ほかの市町村との地域間交流の必要性については、「留萌市への来訪者の増加」、「定住人口の増加」、「知名度の増加」などによる「地域活性化」、「イメージアップ」などプラス指向を期待していることがうかがえます。

●国際化と国際交流について

国際交流について「参加したくない」、「わからない」とする市民が多く、交流の障害として「言葉がわからない」、「接するチャンスが少ない」とを理由としてあげています。今後の内容として「姉妹都市との交流機会を増やす」、交流活動にも期待しつつも「外国語教育の充実」、「留学生・研修生の相互受入れ」、「国際交流活動施設



JR駅などの公共輸送機関との連携性を考えた道路整備を計画的にすすめる、高規格幹線道路深川留萌自動車道の早期完成の促進、広域交通の需要増大の対応に努めます。

個性と活力あるまちづくりを進めるため、道路、水辺、海岸線の空間活用と公共施設などと連動したあたらしい交通・交流拠点網の整備を行い、海岸線・黄金岬・展望台・港・望洋の森などとの連動を重視し、市民と地域を訪れる人々との交流、情報提供の促進を図ります。

(3) 都市の個性と景観の創造

市民参加による都市計画マスタープランの策定、自然と調和のとれた合理的な土地利用、都市環境の整備を図り、市街地再開発事業、土地区画整理事業、住環境整備事業などの推進に努めます。公共施設設の計画的な設置による積極的誘導の役割を果たし、個性と創造に満ちた市街地の形成を図ります。

○都市景観の創造

都市景観は「守る（保全）」「育てる（育成）」「創る（創造）」を基本的視点とし、地域固有の歴史・風土が保たれ、まちの顔とし

て資源活用されるよう推進していきます。

安全を充実する「快適都市」をつくるために —生活環境計画—

(1) わがまちが誇る港湾・物流

市民生活に大切な生活道路は交通機能だけではなく、高齢者、障害者のかたがたに利用しやすい、人にやさしい、歩いて楽しい、交流の場、地域と地域を結ぶ機能整備が求められます。

バス路線、通学・通園路や各種公共施設の連絡道路など計画的な整備を進めていきます。

また、防災対策も考えた総合的な道路網が必要です。

○治山・治水

水害などの災害から市民の生命、財産を守るため、生活環境、自然環境の保全・創出に配慮した対策を推進していきます。

○上水道

安定した水源の確保、安全な水の供給のために施設整備、事業の効率化、高度化、サービスの向上を推進。また、限りある水資源の有効利用、危機管理体制の確立をすすめます。

○下水道

生活環境、住環境の改善のため下水道を推進し、より快適な生活環境づくりをめざします。

○住宅

本格的な高齢社会に対応した住宅建設をすすめる、北方型住環境づくりと若者にとっても住みやすいまちづくりをすすめていきます。

○みどり環境と公園緑地

緑とオープン施設の確保、市街地開発、防災対策などを考えた公園整備。地域ぐるみの緑化運動を推進していきます。

○環境衛生

環境衛生意識の普及啓発、墓地と火葬場の充実。防災、水の安定供給、親水性、自然を生かした留萌ダム周辺整備をすすめます。

○廃棄物処理

大量廃棄型の生活様式を見なおし、分別収集の全市的取組みと減量化・再資源化をすすめます。

(2) 安全な生活環境づくり

○環境保全

地球規模の環境問題を市民一人ひとりが考え、環境学習やリサイクル運動などをすすめていきます。

○防災

地域の安全性、災害に強い地域の形成、体制づくりを進めます。

の整備」など条件整備を強く望んでいます。

●留萌市の将来のイメージについて

子どもから大人まで、市民みんながやさしい心配りをもった「医療・福祉の充実した都市」を志向する市民が最も多く、次に活力のある産業と市民交流・地域間交流に満ちた「活気やにぎわいにあふれる都市」そして、未来への財産となる「自然環境の豊かな都市」「人と海・港がふれあう都市」などのイメージを抱いています。

今後も様々な場を通じてきめ細かく市民の意見を聴き、的確に市民要望と評価をし、この総合計画の推進を図ります。

災害の防止はもちろん。災害が発生した場合には迅速・的確に対応する予防・防災対策を広域的に、そして高度情報化を活用した体制づくりを進めます。

○消防

住宅構造の高層化、都市構造の変化に対応した防火・消防・救急体制、危険物火災などにも対応した体制の充実を図ります。

○防犯

犯罪の凶悪化、広域化、国際化、